

新たな挑戦



岡山商科大学学長 井尻 昭夫

昨年、本学は創立50周年を迎えた。本学は短期大学時代10年間を経て、本年は高等教育機関として61年目、4年制大学としては51年目の年に当たる。61年目は人間であれば還暦の年を経過し、51年目の本年は、半世紀の実績を踏まえて新しい飛躍の初年度という意味合いを持たせたい。

本学の使命は、社会科学の分野で優れた人材の輩出であることは紛れもない事であるが、この「優れた人材」の意味に奥深い課題がある。一つは、今日の社会に期待されている人材の育成であるとともに、無限の可能性を秘めた若者の能力を引き出し、それを磨き上げることであると考えている。

事実、本学はそれなりの成果を挙げてきている。本学卒業生の中には、司法試験や公認会計士合格者も現れた。そして、本学から大学院へ進学する学生も年々増え、昨年は念願の東京大学大学院に合格する者も現れ、進学率日本一を評価してもらっている。又、就職率は97・6%という素晴らしい成果を達成するとともに、在学中に宅建に合格する者も現れた。

50年という歴史の流れの中にあつては、税理士は3桁の数に達しようとしているし、およそ280名の卒業生が先生として教壇に立っている。これらの実績を捉えれば、それなりの社会からの期待に応えているものと自負するものの、決して満足すること

なく、今後より一層、期待に応えていきたい。

現在、我々は、①受身的な授業から能動的授業への改革、②グローバルゼッションへの対応、③地域社会との連携、④大学の質の保証、等にとらえられる新しい教育体制への移行を急ピッチで進めている。しかも、創立50年という節目を通過したことで、変わりゆく社会のニーズに対応するために、「環境が人を作る」という理念のもと、ハード面とともにソフト面においても大いなる努力を傾注している。特に50周年を迎えた昨年从今年にかけて行ったキャンパスリニューアルによって、更に理想的な学びの館を産み出せるものと考えている。

他方、ソフト面においても多大な努力を傾注している。例えば、外から内へ、座学と実践とのギャップを埋めるために、岡山経済同友会のご支援のもと、「岡山経営者論」をすでに20年続けてきた。又、一般にも公開している慶応丸の内シティキャンパス「夕学講座」は、13年目を迎えた。他方、内から外への働きとして、近年、インターンシップおよびフィールドスタディに力を入れており、座学のみならず社会の実態の中での体験を通して理論と実学との結びつきを体験させている。この2つの方策を通じて、学生の活きる力・社会力の涵養をはかっている。この教育姿勢を年々強化し、岡山の地における社会科学の知のセンターとして機能するとともに、変わりゆく社会のニーズに積極的に応えていきたい。

明日を担う若者は無限の能力を持っており、その能力を限りなく引き出し、磨き上げることに全学挙げて取り組み、そこに「社会と呼吸する大学」の存在を確認したいと考える。

CONTENTS

<商大トピック>

- 経済学部から東京大学大学院合格 ●岡山市中央卸売市場「いちば大学」への参加
- 学会学術講演会「ものづくりの国のサービスイノベーション」

<情報アラカルト>

- 真庭市、一般社団法人湯原観光協会及び湯原町旅館協同組合との包括協定
- 国家公務員一般職(農林水産省)合格 ●2015年度私立大学等改革総合支援事業について

商大トピック

Topic 1

創立50周年記念 商師会総会の開催

2015.9.5

本学を卒業後、高等学校などの教育現場で活躍する先生方で構成される「商師会」が、本学創立50周年を記念した商師会総会を開催しました。



総会には、主に県内の高等学校で教鞭を執る先生約30人が集まり、木村隆商師会会長、本学井尻昭夫学長の挨拶の後、会の運営について会議を行いました。さらに、本学経営学部近藤一仁教授による講演会が開催され、企業活動などによる地方創生・女性の活躍・教育改革について、先生方は熱心に聞き入っていました。講演会の後には、懇親会も開かれ、商師会の次の50年に向けて、意見が交わされました。(総務企画課)

Topic 2

保護者懇談会

2015.9.6

9月6日(日)岡山商科大学において、本学後援会との共催により、保護者懇談会を開催いたしました。個別面談を中心に、教育支援の現状の説明、(株)シーズ 代表取締役の平川清高氏(商学部1991年卒)を迎えてのキャリア講演会(「就活生を見守る親として」)など、多彩な内容となりました。その他、中国四国地区4会場においても、懇談会を開催し、多くの皆様に会場まで足をお運びいただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。(総務企画課)

Topic 3

岡山市中央卸売市場 “いちば大学”への参加

2015.9.12, 2015.12.5

(一社)岡山経済同友会との連携事業「ボランティアプロフェッサー制度」による科目「岡山経営者論」でご登壇頂いた岡山中央魚市株式会社の同前



裕一朗代表取締役社長から、岡山市市場事業部、岡山県魚普及協会及び岡山市中央卸売市場青果物消費拡大推進委員会などが主催する「岡山市中央卸売市場いちば大学」のご紹介がありました。第1回目の2015年9月12日(土)は23名、第2回目の12月5日(土)は11名の学生が参加しました。

早朝4時に集合し、水産物や青果物市場のせり売りや仲卸業者によるマグロの解体を見学すると

ともに、マイナス50℃の大型冷凍庫の中に入り、極寒の世界を体験しました。その後、行われた食育講演会では、岡山市保健所から食品衛生の大切さを学ぶとともに、主催者から市場の現状についてのお話を伺いました。受講後は、マグロやマスカット・リンゴの食べ比べなど、貴重な旬のものを沢山頂くことができました。

朝早くからのイベントでしたが、学生は普段目にするのではない市場の様子に大興奮。「岡山の台所」から自分たちの手元に届くまでどのような経路をたどっているのか、実際に目で見て、感じ、舌で味わう、大変有意義な経験をする事ができました。(産学官連携センター)

Topic 4

経済学部 慮陽さんが東京大学 大学院に合格しました。

2015.9.24

本学経済学部所属する慮陽さんが、東京大学大学院経済学研究科に合格しました。これまで、一橋大学、大阪大学、名古屋大学などの大学院には多数輩出していましたが、東京大学大学院は今が初めてとなります。9月24日には、大学院進学を目指す学生を対象とした合格報告会が開催され、後輩に対してアドバイスが述べられました。



慮さんのこれからの活躍を期待します。<慮さんから後輩に向けたメッセージ>
「日本に来て、あっという間に2年半が経ちました。岡山商大の先生方には懇切丁寧にご指導いただき、心から感謝しています。先生方のおかげで、念願の東京大学大学院経済学研究科に合格することができました。私は、アドヴァンストークスの「特別演習」を通じて力をつけることができました。大学院進学を考えている後輩の皆様はぜひこの授業に参加していただきたいと思います。今後もこれまでの経験を生かし、現状に満足することなく、精進していきたいと思っています。」(総務企画課)

Topic 5

ボランティア論 2015年度後期

2015.9.28~

平成26年度後期から開始した県内4大学(岡山理科大学、山陽学園大学、中国学園大学、岡山商科大学)による双方向ライブ型オムニバス授業が、平成27年度後期も開講されました。



4大学協同開発による、テーマ毎に外部講師を依頼するオムニバス形式と、岡山オルガノン、大学コンソーシアム岡山で実施している「日ようび子ども大学」、「エコナイト」、「東日本大震災復興ボランティア」の参加学生による発表、問題解決のためのアクティブラーニング形式の新しい講義形式で取り組んでおり、受講学生からは高い評価を受けています。(担当教員 大崎紘一)

Topic 6

岡山商科大学公開講演会 「18歳の選挙権」

2015.10.1

公職選挙法が改正され、選挙権年齢が20歳以

上から18歳以上に引き下げられたことを受けて、2015年10月1日本学で、山陽新聞社論説委員会副主幹の岡山一郎氏を講師に招き、上記の講演会が開催された。当日は20歳未満の法学部の学生を中心に100名余りの学生や教員がこの講演会に出席した。



岡山氏は、講演の最初に諸外国の政治制度を説明したうえで、民主国家においては選挙制度がいかに重要であるかということ述べられた。そのうえで、選挙権を与えられた者は、自らの判断に基づいて選挙権を行使する責任があること。そして正しい判断をするためには日頃から活字に親しみ、政治に関する情報を適切に収集していくことが重要であることを強調された。

出席した学生たちも大学の講義とはまた異なる趣のある講演に、熱心に聞き入っていた。

(法学部長 伊藤治彦)

Topic 7

【クールジャパンプログラム】 老師 中国広東省広州へ飛び

2015.10.12~

2015年10月11日、経営学部甲元孝朋特任教授は広東白雲學院の招聘講師として関西空港を飛び立ちました。広東白雲學院の要請により10月12~23日、日本人による「日本事情」短期特別講義が行われました。日本、岡山の社会、経済、産業、歴史、文化など幅広い分野の講義を中心にして、井尻学長の集大成「日本はどんな国—中国人が見て、体験した日本」や岡山県提供の冊子、観光マップ、各種のDVDをふんだんに使い、さらには急速要望された茶道、着物着付け体験も実施されました。



なお、11月9~20日には、経営学部岡本輝代志教授が短期特別講義の後半として、ビジネス概論、マーケティング論の講義を行い、広東白雲學院の招聘講義の全日程を終了しました。(国際交流室)

Topic 8

「大学祭や講義でIR講演会 ~大学生に勧めたいIR就活の方法~」

2015.10.24

昨年10月24日、岡山商科大学「大学祭」では第2回「学生と投資家のための会社説明会」が開催されました。本学の産学官連携センターが事務局となり、経営学部 近藤一仁の「基調講演」を皮切りに、3社のIR講演会が行われました。参加企業は、地元の上場企業から「萩原工業」(東証1部)の萩原 邦章社長(現・会長)が二度目のご登壇、広島から「ビーアールホールディングス」(東証2部)の藤田 公康社長のご登壇に加え、東京からも二度目となる東京証券取引所を運営する持株会社「JPXホールディングス」(東証1部)の多賀谷 彰広報・IR部長が駆けつけ、講演の共通テーマである「企業価値評価に必要な金融リテラシー ~長期投資で良い地元



企業を発見しよう〜』に沿った自社のIR活動に熱心に取り組みました。また、一昨年と同様に、挙手による質疑応答ではなく、予め配布された質問票に質問を記入して、司会進行役から会場の参加者に紹介し、講演者が回答するというユニークな手法も採用されました。会場には約100名の学生や地元の投資家および企業関係者が来場し、高いご評価を得たようです。

岡山商科大学では「企業論I」(前期)、「企業論II」(後期)でも、今回の大学祭と同様のIR講演会を講義に導入し、一昨年は前期に「地盤ネット」(東証マザーズ)の山本 強社長、後期に地元「ハローズ」(ジャスダック)の佐藤 利行社長、昨年も企業論I(前期)に「ハローズ」の佐藤 利行社長が二度目の講師としてご登壇いただきました。同社は、その後10月にジャスダックから東証1部に指定替えとなりました。IR講演会の狙いは、大学生に「IR就活」を勧め、企業の「採用情報」だけでなく、広範囲な企業のIR情報にも触れ、経営理念、事業戦略、中期経営計画、CSR(企業の社会的責任)、CG(コーポレートガバナンス)などを理解しつつ、就職活動に役立ててもらおうというものです。今後も、このような経営トップから直接、会社説明を聴くことができるIR講演会に多くの学生諸君が参加することを期待しています。

(経営学部 教授 近藤一仁)

Topic

9

女性研究者育成のための講演会

2015.10.28

研究者を志す女子学生を育成するために、本学の教員により、大学院進学を希望する女子学生を対象とした、研究者となるための心構えについての講演会を開催しました。



特に大学院進学率の高い経済学部において、経済学部長田中勝次教授からは「女性のための大学院進学のための心構え」、経済学部山根智沙講師からは「女性研究者のための心構え」について講演がありました。

田中教授からは、大学院に進学するための本学での教学体制、進学する大学院、進学のための学習、そして進学のための心構え等について講演を頂きました。また、山根講師からは、大学の先生の仕事(教育・研究・社会貢献)内容、研究するために所属する学会の意味、女性研究者の強み等について講演を頂きました。(副学長 大崎紘一)

Topic

10

ものづくりの国のサービスイノベーション～学会学術講演会

2015.11.16

2015年11月16日(月)岡山市北区の「リーセントカルチャーホテル」を会場に、岡山商科大学創立50周年記念の「学会学術講演会」が開催されました。



講師は、元野村総合研究所理事長 現在、産業戦略研究所の代表である村上輝康氏。講演テーマは「モノづくりの国のサービスイノベーション」で、同日18時半～20時までの一時間半、学内外から約160名の聴衆が熱心に講演に耳を傾けました。講演内容を要約すると、『サービス経

済化が顕著に進んだ日本経済のサービス産業の生産性は極めて低く、今後は様々なテクノロジーを活用することによって、生産性の向上に傾注しなければならない。現在の経営学においても「ビジネスモデル」という言葉が一般的によく使用されるが、今後は「サービスモデル」を他社との差異化戦略に据えなければならない時代である。かつての「モノづくりの国」では、モノ=グッズを軸に「グッズドミナント・ロジック」が思考の中心にあったが、今後は「サービスドミナント・ロジック」への大転換が必要だ」と熱く説きました。村上氏の講演の特徴は、単に先行するアメリカの「サービスサイエンス」の学術的紹介にとどまらず、日本とアメリカの双方における先駆的な企業による「サービスイノベーション」の取組みを数多く、具体的に説明したことです。企業と消費者の間における「価値共創」が、今後も国際的なサービスサイエンス研究の大きなテーマになると強調され、岡山商科大学からも日本のサービスイノベーションのリーダー人材を次々に輩出して欲しいとの期待感を述べられた点にあると思われます。

更に詳しい講演内容は、岡山商科大学「商大レビューNo25」に掲載される予定ですが、聴講した学外からの参加者からは、「岡山ではなかなか聴けない、目から鱗が落ちた講演でした!」という嬉しい感想も耳にすることが出来ました。

(経営学部 教授 近藤一仁)

Topic

11

岡山弁護士会による講演会

2015.12.3

2015年12月3日(木)に「現代刑事法」講義の1コマを利用して、弁護士による講演会「弁護士って何をしているの?どうしたらなるの?」を開催しました。これは法科大学院進学希望者の増加に向けた、岡山弁護士会によるPR活動として行われたものです。



講演会では、まず原田優弁護士(兵庫県弁護士会:法学部2011年卒)が刑事弁護人の役割について、仮想事例の検討を交えながら解説しました。さらに、井藤公量弁護士(岡山弁護士会:岡山大学教授)と周東秀成弁護士(岡山弁護士会:岡山大学准教授)が法科大学院へ進学する意義について説明し、そのうえで岡山大学法科大学院の取り組みを紹介しました。

質疑応答の場では、各弁護士から学部時代の過ごし方や弁護士業務のやりがいなど自らの経験をふまえた貴重なお話をしてくださいました。また、受講者からは「弁護士の仕事を身近に感じることができてよかった」という感想が寄せられました。(法学部 准教授 白井諭)

Topic

12

講演会「税の役割と税務署の仕事」について

2015.12.16

経営学部経営学科では、税理士や公認会計士だけではなく公務員や一般企業等の会計に関するさまざまな職業に対する理解を深め、自らの将来の目標を意識しつつ会計学を1年次から重点的に学習できる会計専門コースを2015年度より設置しました。



その会計専門コースにおける教育の一環として、2015年12月16日、広島国税局課税第二部次長 足立治男様を講師に迎え、講演会「税の役割と税務署の仕事」を開催しました。この講演の開催目的は、公務員の中でもとくに会計学の知識を活用できる職業である国税専門官に対する理解を深めることにより、学生の将来の職業に関する選択肢を広げ、会計学に対する学習意欲を高めることです。講演会では国税庁や税務署(国税専門官)の業務内容および日本の税制の概要と現状等について、マイナンバー制度と税制度との関わりをまじえてご講演いただきました。会計専門コースの学生等、講演会に参加した約200名の学生は皆熱心に聞き入っており、大変盛況でした。(経営学部 教授 川本和則)

Topic 13

第11回 岡山市北区京山地区ESDフェスティバル

2016.1.30.31

2016年1月30日(土)と31日(日)の両日、岡山市北区京山公民館で開催された第11回岡山市北区京山地区ESDフェスティバルに参加しました。これは、2013年から本学と岡山市との間にESDに関する包括協定を締結し、持続可能な開発のための教育などの活動を岡山市と連携して実施しているものです。



本学からは、入学前教育履修生の王珮珣さん、袁碩さんが異文化コミュニケーションに関するイベント「ワールドサミット」に参加しました。ワールドサミットのテーマは異文化コミュニケーションで、外国から来られた方が日本に来て、コミュニケーションをする上で、困ったこと、また、良いと感じたことを事例発表し、グループディスカッションをするものです。王さんは、日本人からプレゼントをもらった際に「つまらない物ですが」、といわれたことに戸惑い、後に相手に負担をかけないための日本的な表現であることを知ったというエピソードを紹介しました。ほかにマレーシア、バングラデシュ、イタリアから来日している方々からも文化の違いについて発表があり、グループディスカッションも内容の濃いものになりました。

他にも、本学は、来場した子どもたち向けのスタンパラリーを実施し、フェスティバルの盛り上がりにも協力しました。(産学官連携センター)

Topic 14

石本美来さん(ボウリング部)がひろしまフェニックス賞を受賞しました。

2016.2.9

「ひろしまフェニックス賞」は広島市から、教育・文化、スポーツの分野で、国際大会や全国大会で優秀な成績を収めた個人や団体に贈られる賞です。2015年度は、22人の個人と9団体を選ばれ、その中の一として、本学経営学部商学科1年の石本美来さんが選ばれ、2016年2月9日に授賞式が行われました。石本さんの今後のさらなる活躍に期待します。(学生課)



真庭市、一般社団法人湯原観光協会及び 湯原町旅館協同組合との包括協定調印について

2015.11.6

本学は、2015年11月6日に真庭市、一般社団法人湯原観光協会及び湯原町旅館協同組合との間に包括協定を締結しました。

2005年から経営学部商学科では、真庭市湯原温泉において、科目「観光サービス実習」によるフィールドスタディを行いました。観光業による地域振興を学んだ学生が、「プチホテルゆばらリゾート」の古林伸美氏の協力により、湯原観光協会に所属するホテル、旅館で接客の初歩などの実践学習を行うものです。他に、地域連携活動として、湯原温泉「はんざき祭り」の運営補助と参加、露天風呂「砂湯」の清掃活動、露天風呂におけるキャンドルイベントの設営なども行いました。毎年、6月26日に行われる「露天風呂祭りの日」では、巫女に扮した本学の学生が、温泉に感謝するお祈りを捧げていました。

また、真庭市蒜山高原においても、地域連携活動を行っています。蒜山高原の道の駅では、学生がインターンシップとして土産物販売店や農産物直売所でのレジ業務、商品の梱包作業に携わっていました。グリーンピア蒜山が運営する観光資源の見学を行うと共に、学生とグリーンピア蒜山の関係者が蒜山の観光振興についてグループディスカッションを行うなど密度の高いフィールドスタディを行っていました。

調印式は、美しい紅葉の中、「砂湯」入り口で行われ、太田昇真庭市長から、「包括協定を締結することでこれまで以上に、真庭市で学生に学んでいただきたい」とのご挨拶があり、井尻昭夫学長は、「若者の視点による地域活性化で貢献をしていきたい」と挨拶しました。

真庭市でのフィールドスタディ、地域連携活動を担当する経営学部商学科 大石貴之講師から、これまでの活動の報告と、今後の方向性について、湯原温泉、蒜山高原に加え、真庭市全域を実習の場としていきたいこと、真庭市の観光情報を大学から発信していきたいとの説明がありました。

自治体との協定締結は、新庄村、笠岡市、瀬戸内市、岡山市、備前市、津山市に続き、7つめになります。（産学官連携センター）



エッセー
数珠つなぎ

「経済学に魅せられて」

経済学部講師 加藤 真也

岡山商科大学に赴任して2年が経とうとしています。私は、現在では経済学部の教員として教壇に立っていますが、大学生の頃は経済学部ではなく農学部の所属でした。元々、自然科学が好きで大学生の頃は科学雑誌のNewtonや科学本のブルーバックばかり読んでいました。特に、量子力学の分野は面白いと感じ、学部では量子化学の分野で卒論を書きました（…と格好をつけて言っても、研究者から見れば鼻で笑われてしまうような内容だったと思います）。

私が何故経済学に転身したのかと言うと、学部2年生の頃に「自分は円高や円安の意味も分かっていない。これでは社会に出たときに恥ずかしい!」と思い、経済学の勉強をし始めたことがきっかけでした。勉強するにつれて、経済学という学問が自然科学と同程度に科学的で理論的に思えたことから、見る見るうちに経済学にのめり込んでいきました。特に、ミクロ経済学では、私たちが日常において買い物をする行動を数式で表現し、その行動原理を導き出そうとする方法には衝撃を受けました。このようにして経済学の魅力に取りつかれていった私は大学院に進学し経済学者を志すことになりました。

どの学問もそうですが、経済学も実に奥の深い学問です。経済学は私の残りの人生すべてを研究に捧げたとしても、氷山の一角しか眺められないようなものだと感じています。しかし、氷山の一角であっても覗ける限りのものを覗いてみたいものです。アダム・スミス、リカード、ワルラス、マルクス、ケインズなど大経済学者たちが築いてきた礎を踏襲しながら、経済理論のフロンティアを切り開いていける研究者になりたいと考えています。

最後に、経済学教育に対する想いを述べておきたいと思います。経済学はとても面白い学問です。この面白さを世の中の一人でも多くの人に伝えたいと考えています。経済学部離れが進む高校生に、経済学を学び直したいと考えている社会人に、そして、目の前の商大生に、経済学の魅力を何とか伝えることができないか、それを模索する日々です。

作家の視点

江戸川乱歩賞作家 石井敏弘
本学非常勤講師(第十七期商学部卒)

頭を悩ませていることの一つに、地元の集落の氏神様のことがあります。集落は過疎が進み、若い者はほとんどおらず、早い話が老人が亡くなるたびに戸数も減っていく定めに集落です。

なり手もないので、私は現在、氏子総代を務めさせていただいておりますが、集落での氏子はすでに六軒まで減少。そのうちの三軒は後継者不在。先の限界が見えています。

総代として地元の総会などにも出席することはあるのですが、似たような状況にある地域も多く、昔から日本の隅々に神経のように張り巡らされていた神社ネットワークが、次々にほころび、消滅していく流れがあるようです。要するに、人口の少ないところでは、神社それ自体を維持できなくなっているのです。

小さな村の吹けば飛ぶような神社も、宗教法人の一つです。これは制度上仕方なく、オウムによるテロ以降、こうした宗教法人に関する管理が非常に厳しくなり、財政的な管理が行われているのですが、うちのような小さな神社でも、一年間に五〜六万円の維持費がかかり、もはや常識的な氏子料では支えきれないのが現状です。

こうして小さな神社は、他の大きなところに合祀されるといふようなことが行われ、消滅していくのですが、これ自体そう簡単なお話ではありません。残される社をどうするか、合祀を行ってくれるところとどういう取り決めをするかなど、複雑です。

昔、神社といえば、村人が集まる場所であり、子供たちが遊ぶ場であり、地域の精神的な拠り所でもあったわけですが、そういった原風景が失われていくのも寂しいものがあります。

存続させるための知恵を絞っている昨今です。

Asia Report アジアレポート

孔子学院便り——2015年のイベント報告

1. 春節交流会

1月31日、恒例の春節交流会を開催いたしました。一般市民並びに本学留学生、中国語講座受講生及び教職員が、一堂に会し、ともに中国の春節を祝いました。参加者は150人程ありました。

2. 中国文化サロン——中国茶講座

4月18日、近隣住民の方約30人を招き、中国茶をいただき、中国のお茶の文化を体験していただきました。

3. 中医学講座

6月6日、北京中医学大梁嶸教授による中医学の舌診断講座を開講し、市民に中医学の知識を紹介しました。

4. 端午節交流会

6月20日、中国語講座受講生や地域住民に日本と一味違う中国の端午節の風習を体験していただくために、「端午節交流会」を開催しました。60人ほどの参加者が端午節にまつわる伝説などの説明を聞き、粽(ちまき)作り、五色糸結び、中国事情クイズなどを体験しました。

5. 中国語スピーチコンテスト

昨年度の中国語朗読コンテストを踏まえ、さらに受講生の学習成果を上げるために、7月4日、中国語スピーチコンテストを開催しました。決勝戦当日、14人の選手が発表し、優勝者は中国への短期研修の副賞を得ました。

6. 料理教室

7月11日、岡山市福祉交流プラザ富原の要請を受け、中国餃子作り教室を開催いたしました。具・皮作りを始め、中国水餃子作りを体験していただきました。そのほか、簡単な中国語教室も行われました。

7. 青少年中国語及び中国文化現地サマーキャンプ

7月25日、青少年及び保護者など30人の参加者があり、ミニ天安

門、万里の長城、兵馬俑などの中国名所旧跡のレプリカが見学できる姫路市の「太陽公園」へ出向き、中国文化に親しむ機会となりました。

8. サマーキャンプ

8月5-14日、孔子学院の引率で、12人の高校生と大学生が大連外国語大学へ中国語短期留学をしました。現地で中国語、武術、伝統楽器などの授業を受け、大連瀋陽の現地文化研修も行いました。

9. 中国茶講座

9月5日、岡山市福祉交流プラザ旭東の要請を受け、地域住民を対象に中国茶を紹介・実演する公開講座を行いました。中国の清明前の緑茶などをいただき、中国茶文化の理解を深めました。

10. 孔子学院の日

9月26日、孔子学院の定例の記念日に、孔子学院を一日開放し、中国語ミニ講座、日中文化の相違についての講座及び中国茶、太極拳、切り紙、中国結び、書道などの体験コーナーと中国事情ビデオ鑑賞などを行いました。

11. 中国伝統芸術鑑賞会

10月24日、岡山商科大学創立50周年を祝い、商大祭に大連外国語大学大学生芸術団を招き、一般市民と大学生に中国民族楽器の音楽を披露しました。

12. 文化交流in津山

今年度6月から12月にかけて、津山商業高校と遠隔システムによる中国文化授業を行いました。その一環として、12月19日に講座担当教師と受講した高校生と直接に交流し、餃子作り、太極拳、切り紙などを体験してもらい、相互理解を深めました。

2016年度も引き続きイベントを開催する予定です。

(孔子学院 副学院長 肖爽)

孔子学院経済公開講座開催

2016.1.13

本学孔子学院主催、本学共催、NPO岡山市日中友好協会後援の公開講座が『中国経済の持続発展は可能か』をテーマとして2016年1月13日に開催されました。同志社大学グローバル・スタディーズ研究科の教授で、中国経済に関する研究で知られる厳善平先生をお招きし、中国の経済発展と現状及び未来の発展についてご講演をいただきました。

本学の教職員と学生をはじめ、中国に関心を持たれている一般市民も含め、計170人あまりの参加者がありました。厳先生は事実に基づき、グラフや説得力のあるデータや実例を使い、わかりやすく、詳しく、中国経済の発展について説明されました。また、日中の比較を交えながら中国経済の今後について講演されました。

さらに参加者の質問にも答え、交流を深めました。

孔子学院では中国語及び中国文化への理解を進めるための取り組みを行ってきました。現代中国及びその発展が、関心を集める中、より多くの日本人に多角的に中国を見、日中両国の相互理解を深めるために企画したものです。両国人民の架け橋として、今後とも中国理解のためのプラットフォームを提供し、両国民の友好往來のために貢献を捧げたいと思います。

(孔子学院 副学院長 肖爽)



「日本事情」課外授業 「後樂園」と「岡山城」の見学研修

2015.11.14

11月14日(土)雨が心配な薄曇りの早朝、雨傘持参で私たち「日本事情」受講生55人は、先生たちと一緒に後樂園をめざして学園バスに分乗しました。事前に講義室では後樂園と岡山城の勉強もしており、また二度も後樂園に行っていますが、やはり皆と一緒に行くのは格別のイベントです。

後樂園正面入り口では、早速、手筈通りの五つのグループに分かれて、それぞれに二人のボランティアの方が付き添ってくれました。いよいよ後樂園見学です。入った直後は、公園という雰囲気はなく、少し奥の方に行くと郭沫若の詩碑があり、丹頂鶴にも出会いました。



中国と後樂園、鶴との深い繋がりに非常に感銘を受けました。さらに進むと、不思議な異風景が目の前にあふれ広がり、その美しさに心を奪われました。日本庭園の素晴らしさ、芝生あり、池あり、曲

がりくねった水路あり、鳩がおり、鯉もおり、緑の樹木あり、滝あり、小山あり、竹林あり、風情ある木造建物ありすべて美しく、その自然一体の雰囲気にも雑多な悩みが一瞬に吹っ飛んで、身も心も綺麗に洗われました。お茶屋では吉備団子と抹茶も味わい、日本文化をしみじみ実感しました。ボランティアの方は中国語がべらべらで説明も分かり易く、親切にガイドしていただきました。

次に、南門から月見橋を渡って岡山城に向かいました。考古学に詳しい方の案内で城内を巡り始めて間もなく、心配していた雨が降り出しだんだん大降りとなり、全員駆け足で岡山城の天守閣の中に逃げ込みました。閣内の特別展で有名な戦国武将の復元甲冑をじっくり観覧できたのは幸運でした。徳川家康の真っ黒い甲冑、豊臣秀吉の金ぴかの鉄兜など中国のものと比べて彩り豊かで美しい重厚感に見とれてしまいました。そして、金糸で刺繍した鮮やかで艶やか溢れるお姫様の着物には目を見張りました。時間の関係で着付け体験できなかったのは残念でした。天守閣からの雨模様の岡山の眺望も素晴らしかったです。本当に有意義な課外研修で、寮に帰っても興奮しっぱなしで素晴らしい忘れ難い一日になりました。皆さん本当にありがとうございました。もう一度必ず行きます。

(「日本事情」受講生 鞠文萱 範麗婷 馬博清 李詩嘉)

キャリアセンター便り

企業が求める人材と就活生の姿勢について

本年度の就職内定率は、1月末では92.8%で昨年(85.4%)より7.4ポイントの増加となっています。その要因の一つとして、本年度からの倫理憲章による採用選考時期の変更の後ろ倒しに伴い、短期間で学生と企業相互で内定の確定を急がれたことも否めません。ただ、売り手市場とも囁かれている近年ではありますが、企業側は採用基準を緩めてまで採用する姿勢がないのも現実であり、就職活動をする学生が油断してはならないことの一つでもあります。

近年の企業が求めるプロフェッショナル人材像の資質としては、異質対応力・不確実性対応力・イノベーション推進力などが挙げられます。また、鳥の目（全体を俯瞰する）、虫の目（緻密さと徹底した専門性）、魚の目（世の中の流れを読む）などや環境適応力を備えることも求められています。ですが、多くの企業は選考時にそのようなことまでは全く求めてはいません。入社してから活躍できる人、すなわち会社の利益をあげるために貢献できる人を採用したいと考えています。そのためには自ずと、どのような人材を求めているのかが解れば、就職活動で成功することができるポイントが見えてくるは

ずです。

採用試験では、面接やエントリーシートでよく問われるのが「学生時代に頑張ったことは？」です。一概には言えませんが、就職活動で成功する人は学生時代に勉強やサークル活動、アルバイトなど何か一つでも一生懸命に頑張ったことがある人に多い傾向があるようにも思えます。なぜなら、自分の目標に向けて努力をして達成したこともさることながら、どのように努力をしていかに自分が成長することができたのかなど、目的意識を持って行動していたからです。逆に苦労している人は、何の目的も持たず学生時代を何気なく過ごしてきた人と言えます。企業は、学生に何ができるかではなく、何をしたいのかを求めています。

また、就職活動の正解は一つではありません。「木を見て森を見ず」のように、特定の業種や職種ばかりに固執せず、自分の知らない業界にも意識を向けることで関心を持ち、新しい発見や知識を習得すれば、採用選考に役立つこともあるかもしれません。負け方を知らないと勝ち方がわからないように、たとえ不採用であってもその原因の追究を怠ることなく常に改善し続けることが大切です。これらを学生自身の糧にして志望企業の内定を得られるまで、モチベーションを下げることなく継続できるようにキャリアセンターは支援を続けます。

(キャリアセンター)

Information

情報アラカルト

2015年度部活動戦績

部活名	氏名	学年	大会名	種別	成績	出身高名
ウェイトトレーニング部	山口 明晃	3年	第3回岡山県学生パワーリフティング交流戦	個人	1位	浜田商業高校(鳥根)
ウェイトトレーニング部	山口 明晃	3年	第69回兵庫県民体育大会	個人	1位	〃
ウェイトトレーニング部	山口 明晃	3年	第24回全中国ベンチプレス選手権大会	個人	優勝	〃
空手道部	佐藤 夕文	1年	第40回中国空手道選手権大会	個人	ベスト4	西大寺高校(岡山)
空手道部	佐藤 夕文	2年	第59回全日本学生空手道選手権大会並びに東西対戦	個人組手	出場	〃
空手道部	佐藤 夕文	2年	第59回全日本学生空手道選手権大会並びに東西対戦	個人	出場	〃
空手道部	佐藤 夕文	2年	第38回中国地区空手道選手権大会	一般男子の部	2位入賞	〃
空手道部	佐藤 夕文	2年	第38回中国地区空手道選手権大会	一般男子の部	優勝	〃
弓道部	人見 早紀	3年	倉敷速の選手権大会	個人	2位	興陽高校(岡山)
弓道部	廣永 杏奈	1年	倉敷速の選手権大会	個人	3位	創志学園高校(岡山)
弓道部	香川 直貴	1年	岡山市総体	個人	3位	坂出商業高校(香川)
弓道部			第63回全日本学生弓道選手権大会	団体	出場	
弓道部			第63回全日本学生弓道選手権大会	団体	出場	
弓道部	人見 早紀	3年	第63回全日本学生弓道選手権大会	個人	8位	興陽高校(岡山)
弓道部	人見 早紀	3年	2015年の国わかやま国体	成年女子(近所)	出場	〃
弓道部	人見 早紀	3年	2015年の国わかやま国体	成年女子(遠所)	出場	〃
弓道部	香川 直貴	1年	第24回山口放送西日本弓道大会	男子個人の部	3位入賞	坂出商業高校(香川)
弓道部			平成27年度秋季県リーグ	男子団体戦	3位	
剣道部	小坂 力	2年	第62回中国学生剣道優勝大会	団体	優秀選手賞	玉野光南高校(岡山)
硬式野球部			2015年中国六大学野球秋季リーグ戦	チーム成績	5位	
硬式野球部	岡本 匡孝	3年	2015年中国六大学野球秋季リーグ戦	個人賞		神港学園神港高校(兵庫)
硬式野球部	岡田 聖司	3年	2015年中国六大学野球秋季リーグ戦	個人賞	ベストナイン(一塁手)	倉敷商業高校(岡山)
ゴルフ部			平成27年度中国学生ゴルフ春季1部対抗戦	団体	優勝	
ゴルフ部	藤井 勝成	2年	第33回中国学生ゴルフ連盟会長杯争奪戦	個人	1位	関西高校(岡山)
ゴルフ部	正宗 昇悟	3年	第33回中国学生ゴルフ連盟会長杯争奪戦	個人	2位	後家館高校(岡山)
ゴルフ部	藤井 勝成	2年	第38回中国学生ゴルフ連盟杯争奪戦	個人	2位	関西高校(岡山)
ゴルフ部	荒木 翔也	4年	第38回中国学生ゴルフ連盟杯争奪戦	個人	3位	倉敷商業高校(岡山)
ゴルフ部	藤井 勝成	2年	PSG中国地区クラブ対抗戦	個人	3位	関西高校(岡山)
柔道部			全日本学生柔道優勝大会	男子団体	出場	
柔道部			全日本学生柔道優勝大会	女子団体	出場	
柔道部	宮内 寿和	2年	平成27年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会中国地区予選会結果	個人	準優勝	初芝橋本高校(奈良)
柔道部	神森 拓馬	1年	平成27年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会中国地区予選会結果	個人	準優勝	近大附属広島高校(広島)
柔道部	時本 勇治	1年	平成27年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会中国地区予選会結果	個人	準優勝	天理高校(奈良)
柔道部			中国学生柔道体重別選手権大会	団体	優勝	
柔道部			中国学生柔道体重別選手権大会	団体	5位	
柔道部	河合賢太郎	4年	中国学生柔道体重別選手権大会	個人	優勝	大阪体育大学浪商高校(大阪)

部活名	氏名	学年	大会名	種別	成績	出身高名
柔道部	松村 文弥	3年	中国学生柔道体重別選手権大会	個人	優勝	平田高校(鳥根)
柔道部	伊織 駿	4年	中国学生柔道体重別選手権大会	個人	優勝	崇徳高校(広島)
柔道部	大野 提亮	4年	中国学生柔道体重別選手権大会	個人	優勝	関西高校(岡山)
柔道部	美濃 大将	3年	中国学生柔道体重別選手権大会	個人	準優勝	岡山理大附属(岡山)
柔道部	神森 拓馬	1年	中国学生柔道体重別選手権大会	個人	準優勝	近大附属広島高校(広島)
柔道部	村上 賢郎	3年	中国学生柔道体重別選手権大会	個人	3位	岡山理大附属(岡山)
柔道部			全日本学生柔道体重別団体優勝大会	団体	出場	
柔道部			第45回岡山県社会人柔道優勝大会	団体	2位	
卓球部			第66回中国卓球選手権春季大会	団体	3位	
卓球部	王 甲	3年	第66回中国卓球選手権春季大会	シングルス	1位	出雲北城高校(鳥根)
卓球部	酒井 康行	3年	第66回中国卓球選手権春季大会	シングルス	2位	関西高校(岡山)
卓球部	白石 広大	4年	第66回中国卓球選手権春季大会	ダブルス	3位	今治南高校(愛媛)
卓球部	平野 太智	3年	第66回中国卓球選手権春季大会	ダブルス	3位	徳島学院高校(長崎)
卓球部	酒井 康行	3年	第66回中国卓球選手権春季大会	ダブルス	3位	関西高校(岡山)
卓球部	中尾 久志	1年	第66回中国卓球選手権春季大会	ダブルス	3位	広島商業高校(広島)
卓球部	女子団体1部		第66回中国卓球選手権春季大会	団体	1位	
卓球部	吉見有加子	1年	第66回中国卓球選手権春季大会	シングルス	3位	明誠高校(鳥根)
卓球部	岩切 楓	3年	第66回中国卓球選手権春季大会	シングルス	3位	宮崎商業高校(宮崎)
卓球部	伊藤 夕貴	4年	第66回中国卓球選手権春季大会	ダブルス	1位	山崎女子高校(岡山)
卓球部	岩切 楓	3年	第66回中国卓球選手権春季大会	ダブルス	1位	宮崎商業高校(宮崎)
卓球部			第85回全日本大学総合卓球選手権大会 団体の部	団体	出場	
卓球部			第85回全日本大学総合卓球選手権大会 団体の部	団体	出場	
卓球部			第66回中国学生卓球選手権秋季大会	団体	2位	
卓球部			第66回中国学生卓球選手権秋季大会	団体	2位	
卓球部	王 甲	3年	第66回中国学生卓球選手権秋季大会	シングルス	1位	出雲北城高校(鳥根)
卓球部	伊藤 夕貴	4年	第66回中国学生卓球選手権秋季大会	シングルス	2位	山崎女子高校(岡山)
卓球部	酒井 康行	3年	第66回中国学生卓球選手権秋季大会	ダブルス	1位	広島商業高校(広島)
卓球部	中尾 久志	1年	第66回中国学生卓球選手権秋季大会	ダブルス	1位	山崎女子高校(岡山)
卓球部	伊藤 夕貴	4年	第66回中国学生卓球選手権秋季大会	ダブルス	1位	宮崎商業高校(宮崎)
卓球部	岩切 楓	3年	第66回中国学生卓球選手権秋季大会	ダブルス	1位	山崎女子高校(岡山)
卓球部	谷口穂乃花	3年	第66回中国学生卓球選手権秋季大会	ダブルス	2位	岩国商業高校(山口)
卓球部	吉見有加子	1年	第66回中国学生卓球選手権秋季大会	ダブルス	2位	明誠高校(鳥根)
卓球部	白石 広大	4年	第66回中国学生卓球選手権秋季大会	ダブルス	敢闘賞	今治南高校(愛媛)
軟式野球部			平成27年度西日本地区学生軟式野球春季1部リーグ戦	団体	2位	
軟式野球部			第38回全日本学生軟式野球選手権大会	団体	出場	
軟式野球部	三澤 健太	2年	平成27年度西日本地区学生軟式野球秋季1部リーグ戦	個人賞	ベストナイン(投手)	岡山東商業高校(岡山)
軟式野球部	杭本 拓大	2年	平成27年度西日本地区学生軟式野球秋季1部リーグ戦	個人賞	ベストナイン(捕手)	岡山商大附属高校(岡山)
軟式野球部	高橋 佑太	1年	平成27年度西日本地区学生軟式野球秋季1部リーグ戦	個人賞	ベストナイン(内野手)	岡山東商業高校(岡山)
軟式野球部	中山 匠	3年	平成27年度西日本地区学生軟式野球秋季1部リーグ戦	個人賞	ベストナイン(外野手)	伊野商業高校(高知)
フットサル部			SuperSportsXEBIO岡山県リーグ2015 3部	団体	総合2位(2部降格)	
フラダンス	野崎 遥香	2年	モク・オケ・ア・ヴェ・インターナショナル・フェスティバル 日本大会	団体	優勝	山陽女子高校(岡山)

Information 情報アラカルト

部活名	氏名	学年	大会名	種別	成績	出身高名
ボウリング部	石本 美来	1年	グリコセブンティーンアイス杯第3回フロアボウリングトーナメント	個人	ベストアマ	広島国際学院高校(広島)
ボウリング部	石本 美来 原田菜津実	1年 1年	第52回西日本ボウリング選手権大会	2人チーム	優勝	広島国際学院高校(広島) 海星高校(長崎)
ボウリング部	石本 美来	1年	ワールドボウリングツアーメジャーBowling World Open	個人	出場	広島国際学院高校(広島)
ボウリング部	河邊 領治	1年	ワールドボウリングツアーメジャーBowling World Open	個人	出場	岡山商大附属高校(岡山)
ボウリング部	高淵 玲志	4年	2015年の国わかやま国体	成年男子(個人)	4位入賞	岡山商大附属高校(岡山)
ボウリング部	高淵 玲志	4年	2015年の国わかやま国体	成年男子(団体2人チーム)	出場	//
ボウリング部	高淵 玲志	4年	2015年の国わかやま国体	成年男子(団体4人チーム)	出場	//
ボウリング部	宮崎 誠也	4年	2015年の国わかやま国体	成年男子(個人)	出場	大分高校(大分)
ボウリング部	宮崎 誠也	4年	2015年の国わかやま国体	成年男子(団体2人チーム)	出場	//
ボウリング部	宮崎 誠也	4年	2015年の国わかやま国体	成年男子(団体4人チーム)	出場	//
ボウリング部	石本 美来	1年	2015年の国わかやま国体	成年女子(個人)	出場	広島国際学院高校(広島)
ボウリング部	石本 美来	1年	2015年の国わかやま国体	成年女子(団体2人チーム)	6位入賞	//
ボウリング部	石本 美来	1年	2015年の国わかやま国体	成年女子(団体4人チーム)	5位入賞	//
ボウリング部	原田菜津実	1年	第48回全日本新人選手権大会	成年女子の部	3位入賞	海星高校(長崎)
ボウリング部			文部科学大臣杯争奪 第53回全日本大学選手権大会	男子団体(6人チーム戦)	5位	
ボウリング部			文部科学大臣杯争奪 第53回全日本大学選手権大会	女子団体(2人チーム戦)	2位	
ボウリング部	石本 美来	1年	文部科学大臣杯争奪 第53回全日本大学選手権大会	個人賞	ハイゲーム賞	広島国際学院高校(広島)
ボウリング部	石本 美来	1年	文部科学大臣杯争奪 第53回全日本大学選手権大会	個人賞	ハイシリーズ賞	//
ボウリング部	石本 美来	1年	文部科学大臣杯争奪 第53回全日本大学選手権大会	個人賞	ハイアベレージ賞	//
ライフル射撃部	ハ杉 豊	1年	第12回 秋季全関西学生ピストル射撃競技大会	10mFPS40M	優勝	倉敷聖松高校(岡山)
陸上競技部	石橋 健	4年	西日本学生陸上競技対校選手権	走高跳	3位	大社高校(島根)
陸上競技部	坂野 亮次	2年	西日本学生陸上競技対校選手権	走高跳	4位	益田東高校(島根)
陸上競技部	宮本 泰成	3年	中四国私立大学陸上競技対校選手権大会	100m	3位	光高校(山口)

部活名	氏名	学年	大会名	種別	成績	出身高名
陸上競技部	今井 翔吾	4年	中四国私立大学陸上競技対校選手権大会	200m	3位	東岡山工業高校(岡山)
陸上競技部	村上宗一郎	3年	中四国私立大学陸上競技対校選手権大会	400m	3位	今治南高校(愛媛)
陸上競技部	角本 憲史	1年	中四国私立大学陸上競技対校選手権大会	800m	3位	玉野光南高校(岡山)
陸上競技部	平棟 健	4年	中四国私立大学陸上競技対校選手権大会	110mH	2位	神辺旭高校(広島)
陸上競技部	近藤 翔太 宮本 石川 今井 翔吾	4年	中四国私立大学陸上競技対校選手権大会	4x100mR	2位	益田東高校(島根) 光高校(山口) 鳥取城北高校(鳥取) 東岡山工業(岡山)
陸上競技部	坂野 亮次	1年	中四国私立大学陸上競技対校選手権大会	走高跳	1位	益田東高校(島根)
陸上競技部	廣田 勇一	1年	中四国私立大学陸上競技対校選手権大会	走高跳	3位	岡山工業高校(岡山)
陸上競技部	古志 元希	3年	中四国私立大学陸上競技対校選手権大会	走高跳	2位	神辺旭高校(広島)
陸上競技部	田坂 雅人	1年	中四国私立大学陸上競技対校選手権大会	走高跳	3位	西条農業高校(愛媛)
陸上競技部	神戸 力斗	1年	中四国私立大学陸上競技対校選手権大会	三段跳	1位	八頭高校(鳥取)
陸上競技部	石橋 健	4年	日本学生陸上競技個人選手権	走高跳	2位	大社高校(島根)
陸上競技部	石橋 健	4年	天皇盃第84回日本学生陸上競技対校選手権大会	走高跳	出場	//
陸上競技部	石橋 健	4年	2015年の国わかやま国体	成年男子(個人)	2位入賞	//
陸上競技部	廣田 勇一	1年	日本ジュニア陸上競技選手権	走高跳	出場	岡山工業高校(岡山)
陸上競技部	石橋 健	4年	中四国学生陸上競技選手権	走高跳	1位	大社高校(島根)
陸上競技部	神戸 力斗	1年	中四国学生陸上競技選手権	三段跳	3位	八頭高校(鳥取)
陸上競技部	宮本 泰成	3年	岡山学生陸上競技選手権	100m	2位	光高校(山口)
陸上競技部	今井 翔吾	4年	岡山学生陸上競技選手権	200m	2位	東岡山工業高校(岡山)
陸上競技部	村上宗一郎	3年	岡山学生陸上競技選手権	400m	1位	今治南高校(愛媛)
陸上競技部	牛尾 貴明	3年	岡山学生陸上競技選手権	110mH	2位	明誠高校(島根)
陸上競技部	牛尾 貴明 宮本 相馬 坪根 勇生	3年 3年 3年	岡山学生陸上競技選手権	4x100mR	2位	明誠高校(島根) 光高校(山口) 山口清城高校(山口) 山口清城高校(山口)
陸上競技部	相馬 祥史 坪根 勇生 宮本 泰成 村上宗一郎	3年 3年 3年 3年	岡山学生陸上競技選手権	4x400mR	2位	山口清城高校(山口) 山口清城高校(山口) 光高校(山口) 今治南高校(愛媛)
陸上競技部	坂野 亮次	2年	岡山学生陸上競技選手権	走高跳	2位	益田東高校(島根)
陸上競技部	廣田 勇一	1年	岡山学生陸上競技選手権	走高跳	3位	岡山工業高校(岡山)
陸上競技部	古志 元希	3年	岡山学生陸上競技選手権	走幅跳	1位	神辺旭高校(広島)
陸上競技部	田坂 雅人	1年	岡山学生陸上競技選手権	走幅跳	2位	西条農業高校(愛媛)

(学生課)

資格取得・合格者の声 国家公務員一般職(農林水産省)合格

私は大学に入学した頃から公務員試験を受験しようと考えていたため、2年生の時に公務員講座を受講し、3年生からは予備校に通って試験対策を進めました。公務員試験の筆記試験は科目が多く、はじめは何から勉強すればよいかわからない状態でしたが、予備校に通うことで効率的に勉強することができました。特に私が通っていた予備校ではDVDで講義を受けられるので自分の予定にあわせて受講でき、大学の両立も可能でした。また、独学では対策がしにくい論文や面接についても指導していただけたことが、最終合格につながったと思っています。

今回公務員試験を受験してみても、勉強を続けるためにはメリハリをつけることが重要だと感じました。公務員試験では暗記する量が多いため、勉強しなければならない時間も多くなりますが、集中できない時に無理やり勉強しても頭に残らないと思います。私は眠くなった時には仮眠をとったり、週に1日は勉強しない日を作るなどの息抜きを心がけたことで試験日まで継続して勉強に取り組むことができました。

また、公務員試験は就職試験であるため筆記試験対策だけでなく、面接対策が不可欠です。私は面接に苦手意識があったため、筆記試験が終わった後は毎日予備校で面接練習をしていました。練習を重ねることで様々な質問に対する準備ができ、本番の面接も乗り切ることができました。

筆記試験に加えて、論文や面接など対策しなければならないことが沢山あります。独学では難しい試験だと思いますので、受験を考えている方には予備校へ通われることをお勧めします。(経営学部経営学科4年 植田憲介)

FD・SD講演会 (全学教職員会議) 「外国語での授業法に関するFD・SD」 2015.10.14

従来は、学生に対して英語で話すための教育方法について、教職員に研修を行っていましたが、この研修会では、英語の科目以外の科目を英語で教育をする方法について学びました。「ベルリッツ岡山校」のネイティブの講師から、「Inspiring Lectures in English」をテーマにして、英語の対話での例題を中心に、本学教職員からの英語での質問、質問に対する回答を交えて80分間の講演を受講しました。

多く教職員の積極的な受け答えから、第1回目の研修会としては、実り多いものになったと実感しています。本学でも英語による専門の講義の開講を進めており、教職員側から考えると可能な状況にあることが感じられました。今後は、学生側からの反応も考える必要があります。(副学長 大崎紘一)

第50回商大祭

2015年10月24日(土)～25日(日)に第50回商大祭 櫻(たすき)～50回目の感謝、感動、時々感泣～が開催されました。

まず初めに、今年行われた第50回商大祭は、教職員、学生、地域の方々、様々な人たちのご協力もあり、無事に成功させる事が出来ました。この場をお借りしまして皆様に深くお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

第50回商大祭は、玉木宏さんによるトークショー、かりゆし58さんや山猿さんによるプロコンサートに幅広い層のお客様がお越しになられ、大変盛り上がりしました。

また、ステージ企画では、毎年恒例のDM1グランプリや大人気のカラオケトーナメントそして今年初企画のFood Praiseという、音楽に乗せてお題の食べ物を紹介する企画がとて盛り上がり、お客様に楽しんでいただくことができました。

今年の商大祭は第50回ということで、節目の年でもあり大変盛り上がりましたが、来年も今年に負けず劣らず、更なる高みを目指して頑張りたいと思います。(大学祭実行本部)

避難訓練について

平成27年9月30日(水)学生・教職員すべてを対象とした避難訓練を岡山市西消防署様の協力のもと、実施いたしました。今回は、火災発生時の訓練でありましたが、昨年、大地震、水害と天災が国内で発生しています。岡山は比較的、災害が少なく、安心されている方が多いように感じます。しかし、災害は予期できないものであり、心構え、準備が必要です。天災・人災は発生しないことが、何よりですが、発生した場合、生命に直結した一大事でもあります。今回を機会に今一度、災害に対する心構えを認識していただきたいと思います。そのためにも、今後とも継続して、防災訓練等を実施するよういたいし、万が一に備えたいと思います。(総務企画課)



2015年度私立大学等改革総合支援事業について

2013年度から始まったこの事業に対して、本年度も4つのタイプで申請をすることで、2014年度から教育・研究・地域連携・国際化について活動の改革改善を行い、特評価項目の精緻化に取り組んできました。その結果、タイプ3を除く3つのタイプで採択され、施設設備の充実がなされます。

「タイプ1 教育の質的転換」では、本学の教育環境への対応が進められていることから、新規に追加された評価項目に対しても対応することができ、中規模の教室でもアクティブラーニングのできる環境を整備する「中規模アクティブラーニングルーム(ALR)」を申請し採択されました。

「タイプ2 地域発展」では、本学の地域連携活動は、教職員が包括協定を締結した市町村に出向いて教育・研究・地域貢献活動を行うことに重点が置かれています。本学のキャッチフレーズである「地域と呼吸する大学」であるためには、地域の方々が大学に来て、教育・研究・地域貢献に関する活動の計画、検討をする場所が現在では整備されていません。そこで、地域の方々を交えてアクティブラーニング形式での打合せ、検討、講義等をする場所として、学生会館2階、図書館2階に「地域交流談話室」を申請し採択されました。

「タイプ3 産業界・他大学等との連携」では、産学官連携活動については、かなりの評価項目を満足していますが、外部資金の獲得については十分にできていません。また国内の大学との研究連携については、2014年度から対応を始めたばかりであり、本年度も3点の不足で採択に至りませんでした。来年度は、採択されるべく評価項目について個別に精査して対応していきますので、全学のご協力をお願い致します。

「タイプ4 グローバル化」では、国際化の進んでいる本学においては、評価項目の多くを満足する活動をしています。特に本学での国際化において、効果の大きいのは入学前の日本語教育体制であり、来日直後の日本語能力を評価し、能力別にグループにして教育することで、約6カ月の日本語教育で、成果を上げることができています。そこで、多様なレベルの留学生に効果的に日本語教育をするための教室として、「日本語教育ALR」を申請し採択されました。

(副学長 大崎 紘一)



中規模アクティブラーニングルーム

学位記授与式・入学式のご案内

学位記授与式

2016年3月22日(火) 10時00分～

入学宣誓式

2016年4月3日(日) 10時00分～

※いずれも体育館

(総務企画課)

卒業記念パーティーについてのご案内

今年度卒業生を対象にした「卒業記念パーティー」を、3月22日に開催いたします。お食事やジュースの用意はもちろんのこと、吹奏楽部によるオープニングセレモニーに始まり、お楽しみ映像や、カラオケ大会を企画するなど、堅苦しさを取り除いた、思い出に残していただける会をご用意しております。

ゼミ別の学位記授与終了後に開催いたしますので、ご参加をお待ちしております。会場は当日、案内掲示をご覧ください。

岡山商科大学での、最後のイベントを心ゆくまでお楽しみください。

(学生課)

慶應MCC タ学サテライト 2016年度前期 開催予定

- 開催時間 18:30～20:30(開場18:00)
- 会 場 岡山商科大学 7号館781教室
- 受講料 バスポート券(15回)10,000円
受講券(1回)1,200円

4月13日(水)

<相克は越えられるのか>

竹中 平蔵 (たけなか へいぞう)

慶應義塾大学総合政策学部教授
グローバルセキュリティ研究所所長

「歴史の名言から未来を読む」

4月14日(木)

<見たことのない時代を拓く>

楠木 建 (くすのき けん)

一橋大学大学院国際企業戦略研究科 教授

「長期利益の源泉を考える:オポチュニティとクオリティ」

4月19日(火)

<しなやかに生きる>

山本 昌 (やまもと まさ)

スポーツコメンテーター

「継続する心」

4月27日(水)

<経営の筋力と弾力>

山根 節 (やまね たかし)

早稲田大学大学院教授(ビジネススクール)

慶應義塾大学名誉教授(ビジネススクール)

「なぜあの人は経営のプロと呼ばれるのか?」

5月27日(金)

<変わりゆく神話をめぐって>

姜 尚中 (かん さんじゅん)

東京大学名誉教授、熊本県立劇場館長

「悪との向き合い方」

5月31日(火)

<経営の筋力と弾力>

山岸 俊男 (やまざし としお)

一橋大学大学院国際企業戦略研究科 特任教授

「安心社会から信頼社会へ」

6月2日(木)

<見たことのない時代を拓く>

石坂 典子 (いしざか のりこ)

石坂産業株式会社 代表取締役

「自然と地域が共生を目指す～共に育み、共に栄える、100年先の企業づくり～」

6月8日(水)

<経営の筋力と弾力>

高田 朝子 (たかた あさこ)

法政大学経営大学院イノベーション・マネジメント研究科 教授

「女性マネージャーを育む、活かす、押し上げる」

6月16日(木)

<経営の筋力と弾力>

荒木 香織 (あらき かおり)

兵庫県立大学環境人間学部 准教授

「ラグビー日本代表チームを変えたメンタルコーチ」

6月20日(月)

<しなやかに生きる>

塩沼 亮潤 (しおぬめ りょうじゅん)

仙台市・秋保 慈眼寺 住職

「いつも明るい心で生きて行く」

6月30日(木)

<しなやかに生きる>

原 晋 (はら すずむ)

青山学院大学陸上競技部監督

「東京オリンピックに向けての陸上改革」

7月1日(金)

<変わりゆく神話をめぐって>

鎌田 浩毅 (かまた ひろき)

京都大学教授・地球科学者

「日本列島に迫り来る火山と地震の危機」

「大地変動の時代」を生き延びる」

7月8日(金)

<しなやかに生きる>

小松 和彦 (こまつ かずひこ)

国際日本文化研究センター 所長

「日本の妖怪文化」その歴史と特徴」

7月13日(水)

<経営の筋力と弾力>

一條 和生 (いちじょう かずお)

一橋大学大学院国際企業戦略研究科 研究科長 教授

IMD特任教授

「実践経験を通じて培った実践知としての「リーダーシップの哲学」-リーダーシップ・ジャーニーを歩むために-」

7月28日(木)

<見たことのない時代を拓く>

名和 高司 (なわ たかし)

一橋大学大学院国際企業戦略研究科 教授

「CSV経営 -高収益と社会問題の同時解決を目指す」

■お問合せ先

●岡山商科大学社会総合研究所
〒700-8601 岡山市北区津島京町2-10-1
TEL086-256-6656

●岡山商工会議所 タ学講座担当
〒700-8556 岡山市北区厚生町3-1-15
TEL086-232-2262

*正式なご案内は3月中旬を予定しております。

(社会総合研究所)